

保健体育科（体育） 学習指導案

期 日： 令和2年11月19日（木）2校時

場 所： 奄美高等学校第1グラウンド

対 象： 1年4組 男子18名

指導者： 宇都 孝弘

1 単元名 球技 ゴール型 「サッカー」

2 単元の目標

- (1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。(知識及び技能)
- (2) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。(思考・判断・表現)
- (3) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることや健康安全を確保する。(主体的に学習に取り組む態度)

3 サッカーの特性

- ① それぞれ11名の競技者からなる2つのチームが、お互いにボールを奪い合い、“ゴール”という形での得点を競うスポーツである。
- ② ボールは手以外の、足、頭など、身体各部で扱わなければならない。ゴールキーパーは定められたエリアの中でのみ、手の使用が認められている。
- ③ 広いグラウンドを縦横無尽に動き回れるだけの持久力、対人プレイでの瞬発力・筋力、さらにそれぞれの局面においての的確な判断力が要求される。
- ④ ボールコントロール、パス、ドリブル、シュートの各技能が、刻一刻と変化する状況に応じて適切に発揮されること（オープンスキル）が要求される。
- ⑤ 有効なプレイのためにお互い協力することが必要とされるので、個人プレイとチームプレイの両面に、高度な技術と戦術が求められる。

4 生徒の実態

全ての生徒が、小学校もしくは中学校の体育の授業においてサッカーを経験したことがある。本校サッカー部員が5名、サッカー経験者が3名おり、その他の生徒もほとんどが運動部活動に入部しており運動能力が比較的高いクラスである。

体育への興味・関心は高く、授業に取り組む姿勢は積極的で、上手になりたいという気持ちを持っている生徒が多い。

5 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
内容のまとめりごとの評価規準	<p>勝敗を競う楽しさや喜びを味わうとともに、球技の学習に主体的に取り組み、フェアなプレイを大切にすることや、仲間を尊重し、合意形成に貢献することなどに意欲をもち、健康や安全を確保している。</p>	<p>これまで学習した内容をもとに、自己や仲間、チームの課題に応じた練習計画の立て方などの運動を継続するための取り組み方を工夫している。</p>	<p>作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。</p>	<p>技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。</p>
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・球技（ゴール型）の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・練習やゲームで、お互いを尊重するなど、フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・練習やゲームの際に、必要な役割を積極的に引き受け、主体的に取り組もうとしている。 ・チームや自己の課題解決に向けて自らの考えを述べたり、相手の話を聞くなど、チームの話し合いに責任を持って関わろうとしている。 ・仲間と互いに助け合い高め合って学習に取り組もうとしている。 ・自己や仲間の健康・安全を確保しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の技術を身につけるための運動の行い方やポイントを見付けている。 ・自己やチームの課題を見付けたり、課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・仲間と役割に応じた協力の仕方を見付けている。 ・運動を安全に行うための方法を選んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型の技術などの名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・ゴール型の学習を通して体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ・ゴール型の学習の課題解決の方法について、学習した具体例を挙げている。 ・競技会の仕方などについて、学習した具体例を挙げている。

<p>学習活動に即した評価規準</p>	<p>① 勝敗を競う楽しさや喜びを一層深く味わい、サッカーの学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>② 相手の素晴らしいプレイを認めたりして、フェアなプレイを大切にしようとしている。</p> <p>③ 必要な役割を積極的に引き受け、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>④ チームの作戦や戦術などの話し合いに責任を持って関わろうとしている。</p> <p>⑤ 自己や仲間の健康や安全を確保しようとしている。</p>	<p>① これまでの学習を踏まえて、チームが目指す目標に応じたチームや自己の課題を設定している。</p> <p>② チームの仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</p> <p>③ 健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいく。</p>	<p>① ゴールに向かってボールをコントロールして運ぶことができる。</p> <p>② 守備者の動きを見ながら、守備のいないところを狙ってパスを出すことができる。</p> <p>③ 守備のタイミングをはずし、守備のいないところを狙ってシュートを打つことができる。</p> <p>④ シュートをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動することができる。</p> <p>⑤ 得点を取るためのフォーメーションやセットプレイなどのチームの役割に応じた動きをすることができる。</p>	<p>① サッカーにおける個人の技術やチームとしての作戦や戦術の名称があること、局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、技能の向上につながる重要な動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>② サッカーに必要な体力を技能に関連させながら高めることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>③ 自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通じた学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>④ サッカーにおける審判の仕方について、学習した具体例を挙げている。</p>
---------------------	---	--	--	--

6 指導の計画（全18時間）

時間	学習のねらい	学習活動内容
1	学習のねらいと進め方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体オリエンテーション ・グループ分け
2~4	<p>ねらい1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今持っている個々の技術を活かし、ゲームをする。 ・ルールを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームを行いながら、個人及びチームの課題を理解する。 ・様々な形のゲームを行いながら、ルールを身につける。 (パスゲーム ミニゲーム)
5~7	<p>ねらい2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じたボール操作を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パス・トラップ・ドリブルなどの個人技能のスキルアップをはかる。
8~12	<p>ねらい3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールへの攻撃練習でシュート技能を身につける。 ・守備技能を身につける。 ・自チームの特徴を活かした作戦を立て、ゲームを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリブル・センターリング・ワンツーなどのシュートパターンを身につける。 ・チームにあったフォーメーションづくりと個人の技能にあったポジションを決める。
13~15	<p>ねらい4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手チームに応じた作戦を立て、練習を工夫しながらゲームを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの内容から自チームの課題と相手チームの特徴を理解し、作戦やチーム内練習を工夫する。
16~18	<p>ねらい5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで身につけた個人技能と集団技能を用いて、攻撃、守備などを工夫しゲームを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解し、自分たちでゲームを運営できるようにする。

7 本時（7時間目／18時間）

(1) ねらい

- ・基本技術・パス技能などの個人技能を習得することを目指すとともに、実際のゲームでどう生かされるか理解する。
- ・チームの仲間と励ましあいながら楽しむとともに、勝つ喜びを味わう。
- ・ルールを守り、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。

(2) 展開

	学習内容	指導上の留意点	評価の観点
導入 10分	<p>1 整列・挨拶・出欠確認・健康観察。</p> <p>2 準備運動と補強運動を行う。</p> <p>3 基本練習を行う。(2人組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インサイドキック ・インステップキック ・腿トラップ ・胸トラップ ・ヘディング 各6回 	<ul style="list-style-type: none"> ・服装や姿勢をしっかりさせる。 ・怪我の防止になるようにストレッチ、補強運動を行わせる。 ・ボールの中心を捉えて、相手の胸当たりを狙って蹴るように指導・助言する。 	関心意欲態度③
展開 30分	<p>4 本時のねらいを確認する。 パス技能を身につけ、実際のゲームに活かそう</p> <p>5 パス練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人組でのパス練習 ・5対1 ・4対2 <p>6 ゲーム ルール説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3チーム 6人制 5分間 ・ゲートを通してパス成立で得点 A対B A対C B対C 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいと学習内容を理解させる。 ・インサイドキックで狙った方向へパスするよう指示する。 ・守備の動きを見ることの重要性を理解させる。 ・作戦を立てるときに、一人ひとりの良さに注目するよう助言する。 ・ゲームを審判しながら、安全に留意して活動させる。 ・ゲームの合間に作戦、戦術について話し合いをさせる。 	<p>技能②</p> <p>関心意欲態度④</p>
まとめ 10分	<p>7 本時のまとめ ゲームの振り返り</p> <p>8 次時の説明をする。</p> <p>9 挨拶・後片付け</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各チームで、試合内容を振り返らせる。 ・ねらいを達成できたか確認させる。 ・次時の活動を確認させる。 	思考判断①